

製造業

〈食料品〉

〔味噌製造業〕

輸入原料（大豆・米）の価格高騰による収益悪化に歯止めがかからない状況である。

〔パン製造業〕

1月22日～27日の「博多うまかもん市」出展にて、昨年比若干の売上上昇である。生産量に変化はみられない。

〈繊維〉

〔織物製造業〕

小物商品の商品数は増加しているが、帯類の商品は減少しており、売上額からすると減少している。

〈木材・木製品〉

〔木材製品製造業〕

大工不足により、着工が遅れているケースも多くあり、3～4月中は、このまま推移しそうな状況である。

〔仏壇仏具製造業〕

先月と同じく、消費税の関係か、製品購入の相談がよくあるようになった。

〈印刷〉

〔印刷業〕

印刷需要の減少、価格競争による収益悪化、更には資機材の値上げが追い討ちをかけ、一層の逼迫感を助長させている。こうした厳しい局面を打開する施策を一刻も早く構築されることを期待する。

〈鉄鋼・金属〉

〔鋳鉄物製造業〕

生産は引き続き回復傾向にある。全体的に地域間のまだら模様もなくなり、全地域で前期比2ケタの伸びをみせた。但し、収益は電力料の値上がり、円安による材料費の値上げであまり改善していない。価格への反映が課題である。

〈一般機械業〉

〔一般機械器具製造業〕

アベノミクスによる景況改善の報道があるが、当組合の主要組合員である中小企業には、その実感は乏しい。

非製造業

〈卸売業〉

〔自動車中古部品卸売業〕

1月に入り鉄価が下落を始め、売上に影響が出始めてきた。今後も下落が続くと経営状況への影響が心配される。

〔電設資材卸売業〕

消費増税のかけこみ需要で好調である。

〈小売業〉

〔石油製品小売業〕

季節商品である灯油の需要が良くない。高値で節約志向、厳寒の日が続かない状況で、このまま暖冬になるとさらに悪化すると考えられる。

〈商店街〉

〔福岡市〕

正月の売り出しもまずまずであった。神社への参拝帰りなど商店街内の人手は多い。各種の行事やイベントを企画・実施しながら各店ともに業績の維持向上に努めている。

〈サービス業〉

〔倉庫業〕

全体的にトラックの出入りも以前に比べると多く、景気が上向いているような印象は受ける。ただ一方では、ドライバー不足で確保が難しくなり、その結果賃金がアップしており、収益的にはまだまだ厳しい面がある。

〈建設業〉

〔設備工事〕

4月からの消費増税の影響なのか、工事発注は多少増えているようだが、仮設資材及び施工材料が不足気味の様子である。

〔室内装飾業〕

職人不足から現場引渡が遅れている。物件数は相変わらず多い。

〈運輸業〉

〔道路貨物運送業〕

景気回復基調で荷動きが活発化しつつあり、運賃についても上昇傾向にある。収益状況は燃料費などのコスト増で、好転するまでには至っていない。

福岡県の業種別D・I値の変化

(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	繊維・同製品	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	木材・木製品	↗	→	→	→	↗	→	→	→	↗
	印刷	↓	↓	→	→	→	→	→	→	→
	窯業・土石製品	↑	→	→	→	↑	→	→	→	↗
	鉄鋼・金属	↑	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	電気機器	↓	→	→	→	↓	→	↓	→	→
	卸売業	↑	→	↑	→	→	→	—	→	→
	小売業	↓	→	→	→	→	→	—	→	↓
	商店街	↓	→	→	→	→	↓	—	→	↓
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	↓	—	→	→	↓	→	—	→	→
D・I		2	-17	7	-4	-9	-6	-5	7	-13

↑ 増加・上昇・好転
 → 不変
 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

- 「売上高」、「販売価格」、「取引条件」、「収益状況」、「景況」D・Iは、前年同月比で改善傾向にある。
- 「景況」D・Iは、平成24年3月期より23ヶ月連続で前年同月比より上昇している。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>